

4 浜田 昌俊
 小生10年ほど前から新聞を切り抜いてスクラップ・ブックを作るのを趣味にしています。意外に楽しいのです。みなさんにおすすめてみたいのです。

毎日届けられる新聞に注目し、興味を覚える記事を写真と共に切り抜いてスクラップするので。一日が充実し楽しくなります。(高知新聞は秀でた新聞だと思えます)是非やってみませんか。

5 ***
 相変わらず元氣と云っても米寿で齡と共に趣味も奪われる。好きなゴルフ・鮎釣りの体力を要するものは次第に遠ざかる。仲間と遠方への吟行は遠慮することになっている。今は囲碁を楽しんでいる。とに角出来る時に存分楽しむことが大切と痛感している現状です。

6 島崎 齊
 出奔以来ズレル事なく自民党政権と取り組み続けてきた点は立派。
 80年安保の時、労働者・学生のエネルギーの漲りがあり気分が余裕があったが、安倍晋三の焦りと力みかえる状態を見るにつけても8月の参議選(国家と国民の運命を決定すると言っても過言ではない)の結果がどうなるか、少々気をもんでいます。のん気にいる人に一人でも多く議論をふっかけている。

7 溝渕 政子
 高退協ニュース200号発行バシライと思わず両手をあげました。ごくろう様でした。私は7月1日で88才になります。体もおとろえていますが高退協ニュースは隔から隔まで読んで勉強しています。生きる勇気を呉れる高退協ニュース有難う。がんばります。

8 田中正
 発行200号おめでとうございます。投稿されてきた先輩方、発行の重責を担ってこられた先輩方ありがとうございます。毎号楽しみに読んでいます。

9 山下 正寿
 30年前の山原健二郎議員の国会質問以来、逃げ隠れして来た政府のビギニ事件幕引きの責任追及がやっと始まりま

した。榎原守光弁護士・吉良県議と相談して、アメリカ追従の政治決着の結果被災船員の生業と生命を放置した国家賠償請求を準備します。高知らしいたたかいに高退協のご支援をお願いします。

10 國松 勝
 戦後政治への逆戻りを絶対に許してはなりません。参議選で力を合わせて未来への展望を切り拓きましよう。

11 杉藤 尚司
 老齡年金支給で一つの区切りを迎えた。家事手伝いの傍ら庭の草花(山野草、クリスマスローズ等)、野菜(ブルーベリー含)の世話で日々を過ごしている。時々、母と初孫のご機嫌伺いに安芸、南国へ。市民図書館貸し出しの推理小説の乱読で時間をつぶし、例年と変わりない時が流れていくもうすぐイタドリとキスゴ釣りの季節が来ます。

12 ***
 老いの身に燃やし続けん希望の火
 去るときあるも われは思わず

13 小澤 幸次郎
 高退協の40年の踏跡歴史は私の高知での40年のあゆみに重なります。私は高退協に支えられ仲間たちとともに生きてきました。高退協ニュースそして機関誌こうたいきょうはその証しであり、活力の源になっていきます。200号発行おめでとう。これからも共に生きてゆきましよう。ありがとうございます！

14 田所 金久
 表現するということは一社会を変える方法一を手にすることです。高退協や9条の会で何かを表現しながら、畑で新鮮なものを作っています。

15 小笠原 さちを
 月1回 俳句研究会
 月2回 吟行句会
 杖を頼りに出かけています
 レクイエム 弥生 一・一・二・四・六

16 小松 昭夫
 毎年のこと北西風の吹く時に切干・千切大根、東山芋を作り友に贈るを楽しみにしています。

ています。

17 市川 まさ
 皆様には、お変わりございませんか。役員の方々には、お役目ご苦労さまでございます。「バレエ・スクール」を営む次女の住む千葉県の八千代市へ移住して十年余、第二の故郷になりました。当地は、気候もよく隣接の茨城より県境の標高がやや高いため水害にも会わずありがたいです。

私は、1981年の退職後、高退協の皆様と三十年余も山歩きを楽しみました。そのお陰で身体中どこも痛む箇所はありません。私も間もなく九十三歳外出には、身づくろいし、薄化粧もして背を伸ばして歩き、「どうだ！九十三歳には見えなだらう！」と心の中で唱えながら、買い物にも行き、散歩もします。今、しばらくは娘にも面倒をかけず、元気で過ごしたいと願っております。

18 井上 圭介
 気候の変動に翻弄され、もて遊ばれています。趣味のスキーは雪不足。目まぐるしく変わる寒暖は、風邪とさんざんやられました。変化を好んでいた私ですが歳からか、平穩もいいなと思うようになりました。

19 西森 貞雄
 貯金もなしのその日暮らしが続く。でもタバコはやめられない。

20 岡本 雅道
 六巡目の申年となりました。やるべきこと、やらなければならぬことは、たくさんあるのに、殆ど手につかない毎日になっていきます。がんばってみるか、空元気で！

21 和田 明
 高退協ニュース発行200号おめでとう。投稿者各位、編集委員のみなさんが、会員・ご家族の方々の励みになるニュースを届けて頂き、有難うございます。機関誌「こうたいきょう」と共によろしくお願います。

22 末久 智子(旧 山田)
 一九五九年(昭34年)十月から一九六五年(昭40年)二月まで五年および書記局で書記として勤務していました。当時の執行部では、浜田昌俊、坪井幹之、岡崎清恵、横田慧の各先生方しかいられしやなくて淋しいかぎりです。現在満80才、一人になりましたが有り余る時間を自分のためだけに使える幸せをありがたく思っています。週二回ソフトラニスを楽しみ、至って元氣です。浜松から皆様の高退協のご発展をお祈りします。

左から正岡順子さん(元県教組書記)、橋元さん、末久智子さん、小松さん



(末久さんを囲んで 書記局にて)

23 倉橋 楠雄
 40年の重みを感じる200号です。すごいですね。歴代の担当者、原稿を提供していただいた皆様、そして読んでいただいた会員の皆様。ありがとうございます。そして、これからも300号に向けよろしくお願致します。

25 鎌田 伸一
 200号おめでとうございます。継続は力。ご努力に敬意を表します。横田慧さんの連載は、知的刺激を与えていただきました。最近の私のお気に入り旅行記・エッセイと島本聡さんのユーモアあふれる農園だよりです。楽しみにしています。編集担当の皆さんのご苦労に感謝し、執筆者の皆さんの健筆に期待しています。新しくスタートした山下正寿さんの連載も楽しみにしています。なかなかかよう書きませんが、熱心に読んでいますのでがんばるべし。(4面に続く)